

第2章 築上町の概要

1 町内の区分

本計画では、町内を「東築城地区」や「高塚地区」などの大字単位での区分に加え、下図に示すように「椎田エリア」、「八津田エリア」、「葛城エリア」、「西角田・小原エリア」、「上城井エリア」、「下城井エリア」、「築城エリア」の7つのエリアに区分し、適宜、地区、エリアに区分して、各種データを整理しています。

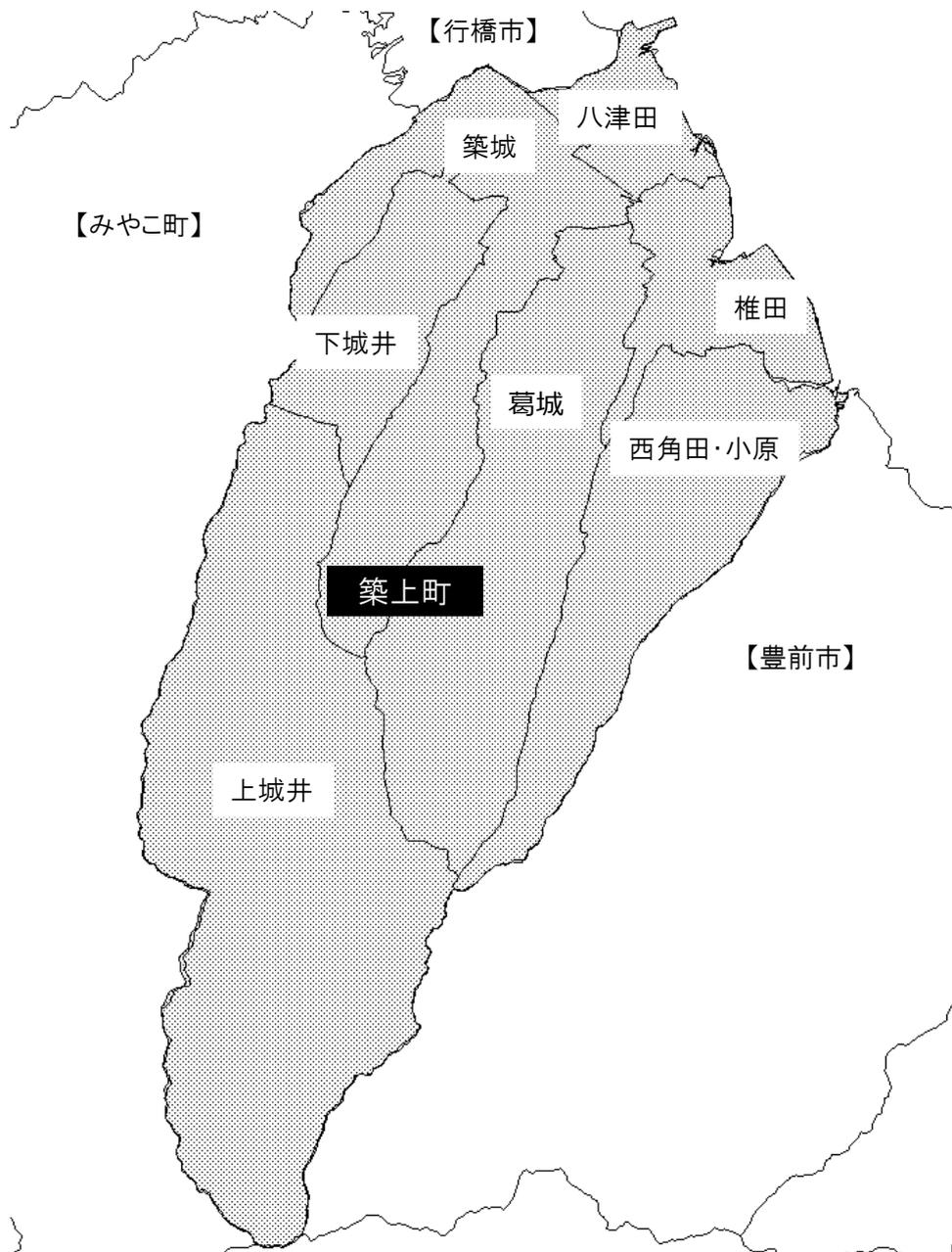
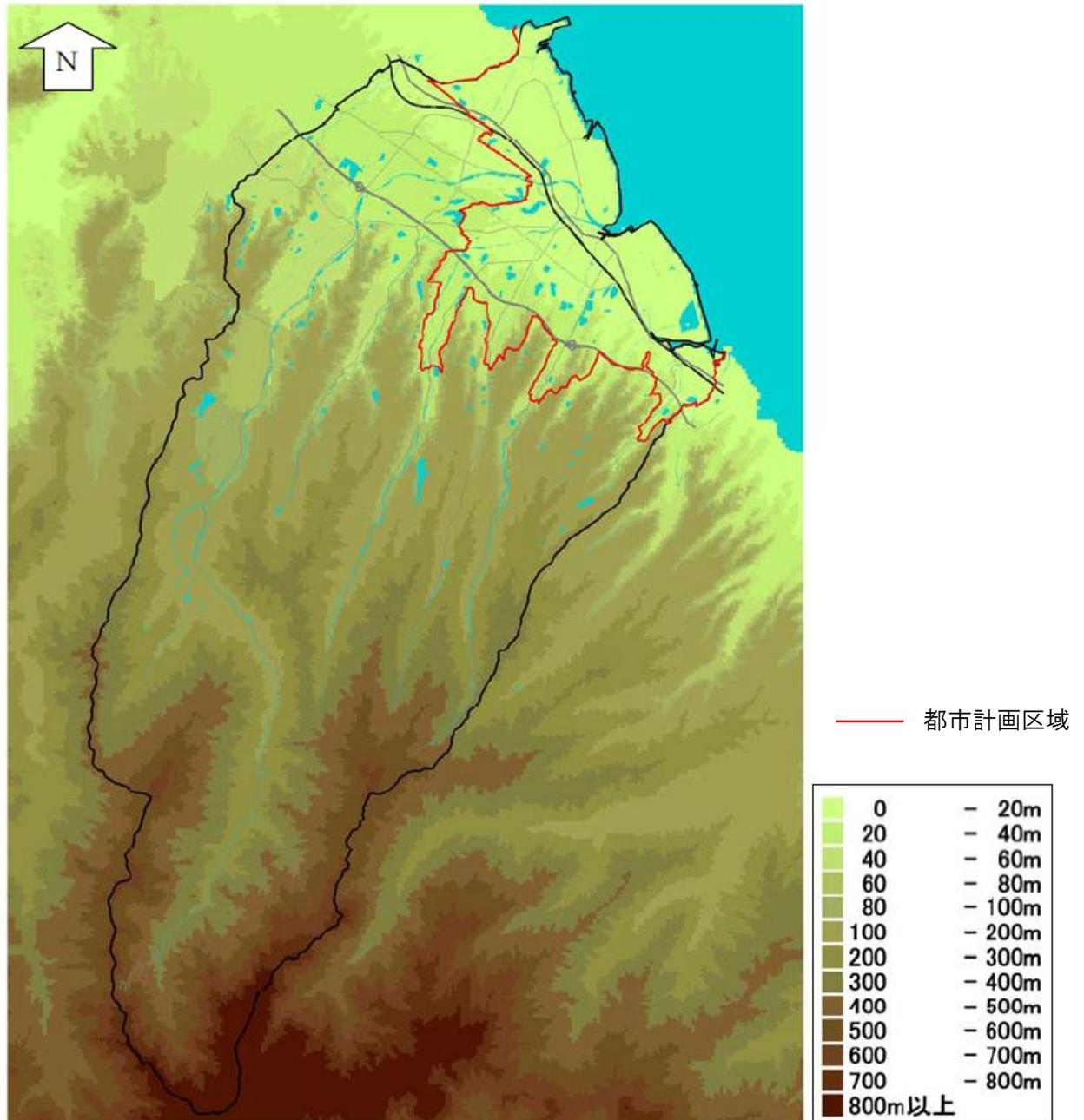


図 2-1. 築上町のエリア区分

2 地形

- 町の北側の周防灘に面した沿岸部に平地はみられますが、町域の大部分は山地・丘陵地となっています。
- 山間部から周防灘に向け河川が流れ、谷を形成しています。
- 河川に沿う方向での移動に比べ、河川を横断する方向の移動は、谷と山が入り組んでおり、移動しづらい地形となっています。



出典：築上町都市計画マスタープラン

図 2-2. 築上町の地形

3 土地利用

- 築上町の面積は 119.35km²あり、そのうち 61%が森林として利用されています。
- 沿岸部は都市計画区域に指定されており、用途地域が指定されている椎田駅周辺や、築城駅周辺は商業地や住宅地として利用されています。
- 都市計画区域及び準都市計画区域の多くは、田、山林として利用されています。
- 町の北側、行橋市との境には、航空自衛隊築城基地があります。

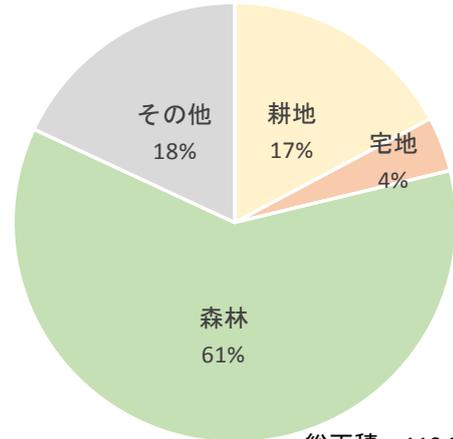
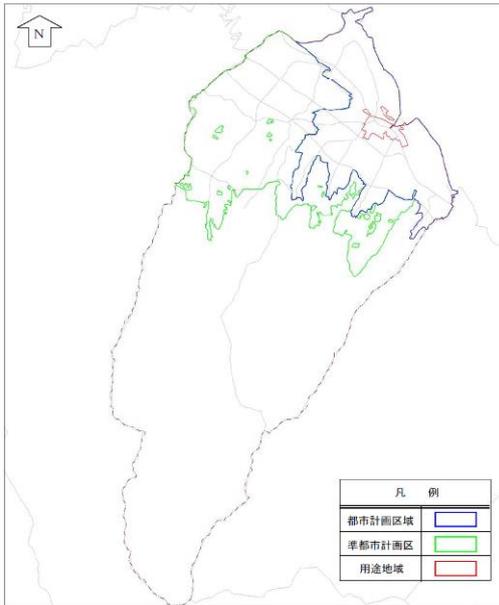
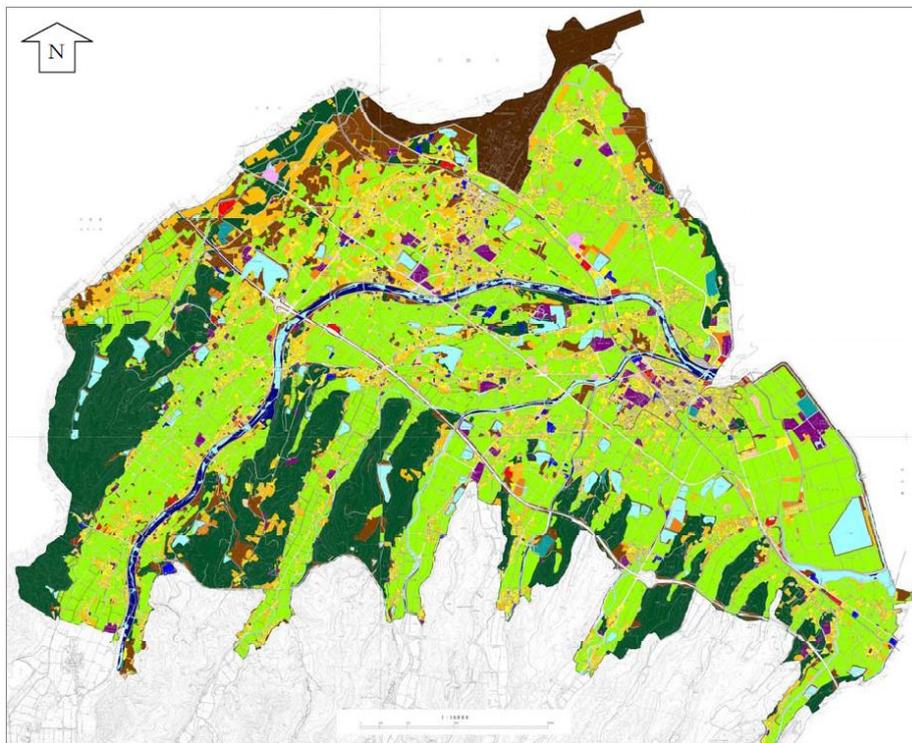


図 2-3.築上町の土地利用



凡 例		表 準
土地 利 用		
1	田	
2	畑	
3	山林	
4	水面	
5	その他自然地 1	
6	その他自然地 2	
7	住宅用地	
8	商業用地 (小売業)	
9	商業用地 (その他)	
10	工業用地	
11	公益施設用地	
12	道路用地	
13	交通施設用地	
14	公共空地 1	
15	公共空地 2	
16	その他の公的施設用地	
17	その他の空地	
18	森林漁業施設用地	
	用途地域	
	都市計画区域	
	基礎調査区域	

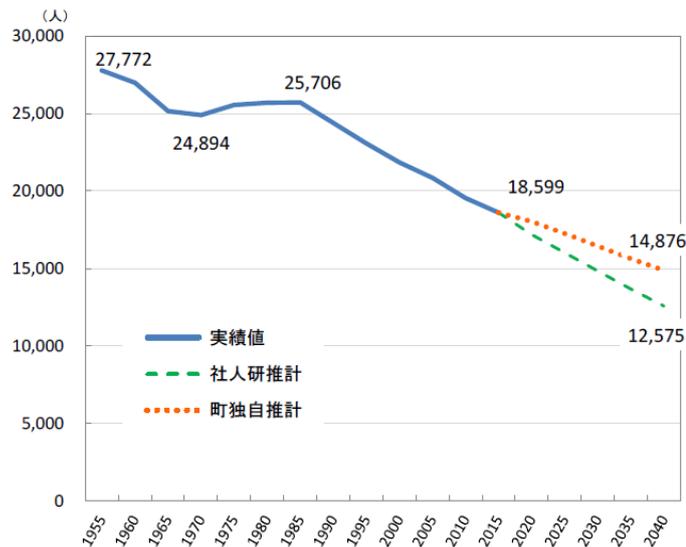
出典：築上町都市計画マスタープラン

図 2-4.築上町の都市計画区域等の指定状況(上)と土地利用

4 人口

4-1 人口推移

- 築上町の人口は、1990年（平成2年）以降、急激に減少しており、2015年までの25年間で25,706人から18,599人へと7,107人、28%減少しています。
- 今後も人口減少は続くと推計されており、2040年の推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計で12,575人、町の独自推計で14,876人と、2015年より3,723～6,024人減少する予測となっています。
- 65歳以上人口は、1990年（平成2年）の4,559人から、2015年（平成27年）の25年間で6,367人へと1,808人増加、高齢化率も18.7%から34.3%へと15.6ポイントも増加しています。



出典：築上町人口ビジョン（※2015の人口は国勢調査の速報値）

図 2-5. 築上町の人口推移と将来人口推計

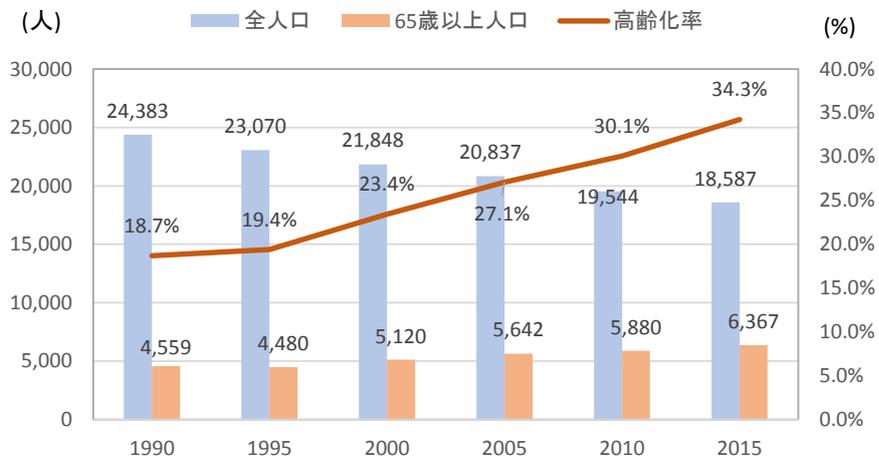
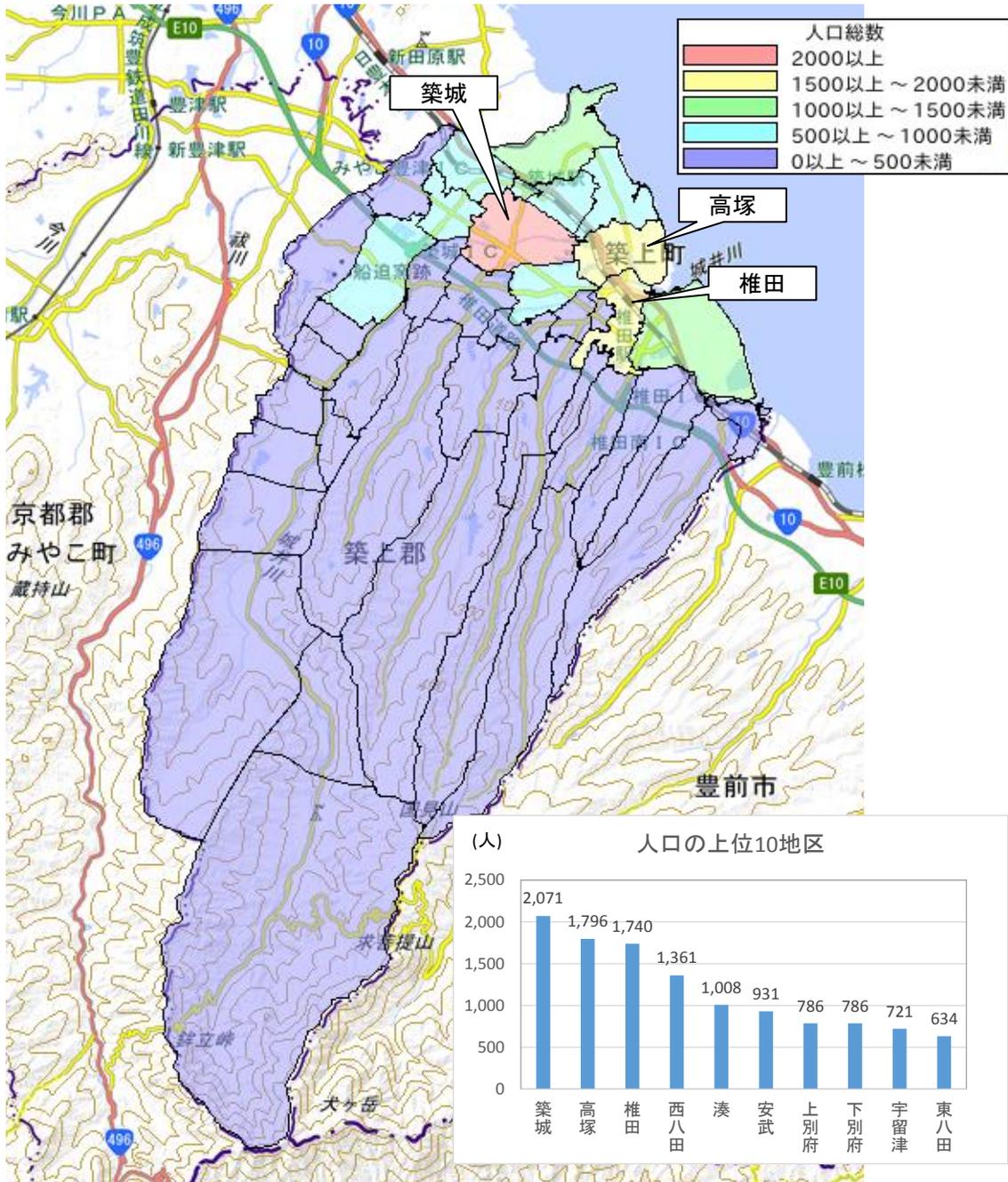


図 2-6. 築上町の高齢化率の推移

4-2 地区別の人口分布

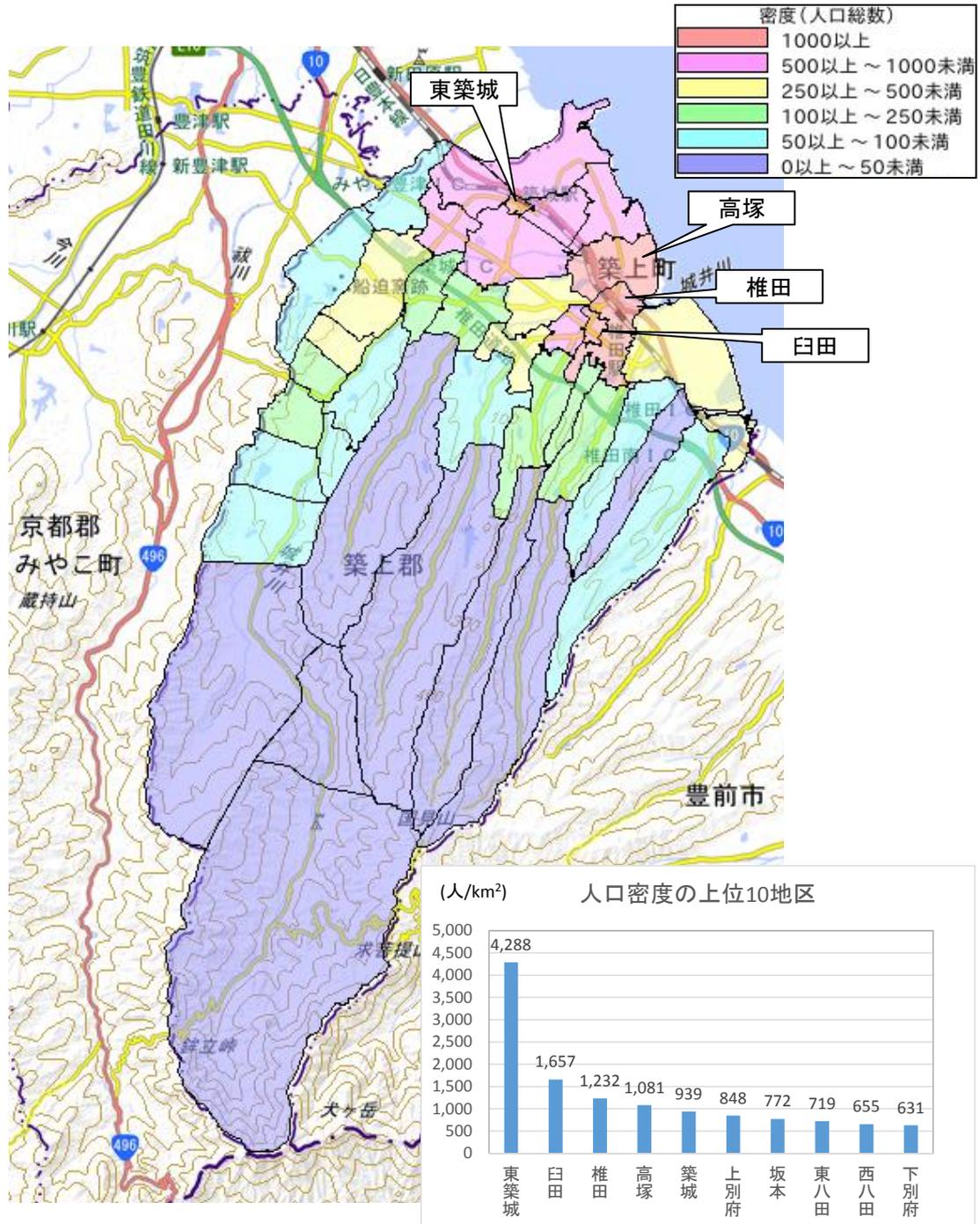
- 人口は沿岸部に集中しており、築城地区が2,021人と最も多く、次いで高塚地区1,796人、椎田地区1,740人の順に多くなっています。
- 一方、山間部の人口は少なく、ほとんどの地区が500人未満となっています。



出典: 政府統計の総合窓口 e-Stat(データは2015国勢調査)

図 2-7. 築上町の地区別の人口

- 人口同様に、沿岸部の人口密度が高く、東築城地区が 4,288 人/km² と非常に高くなっています。
- その他にも、臼田地区、椎田地区、高塚地区で 1,000 人/km² を超えています。
- 一方、山間部の人口密度は低く、町の概ね南半分は、人口密度が 50 人/km² 未満となっています。

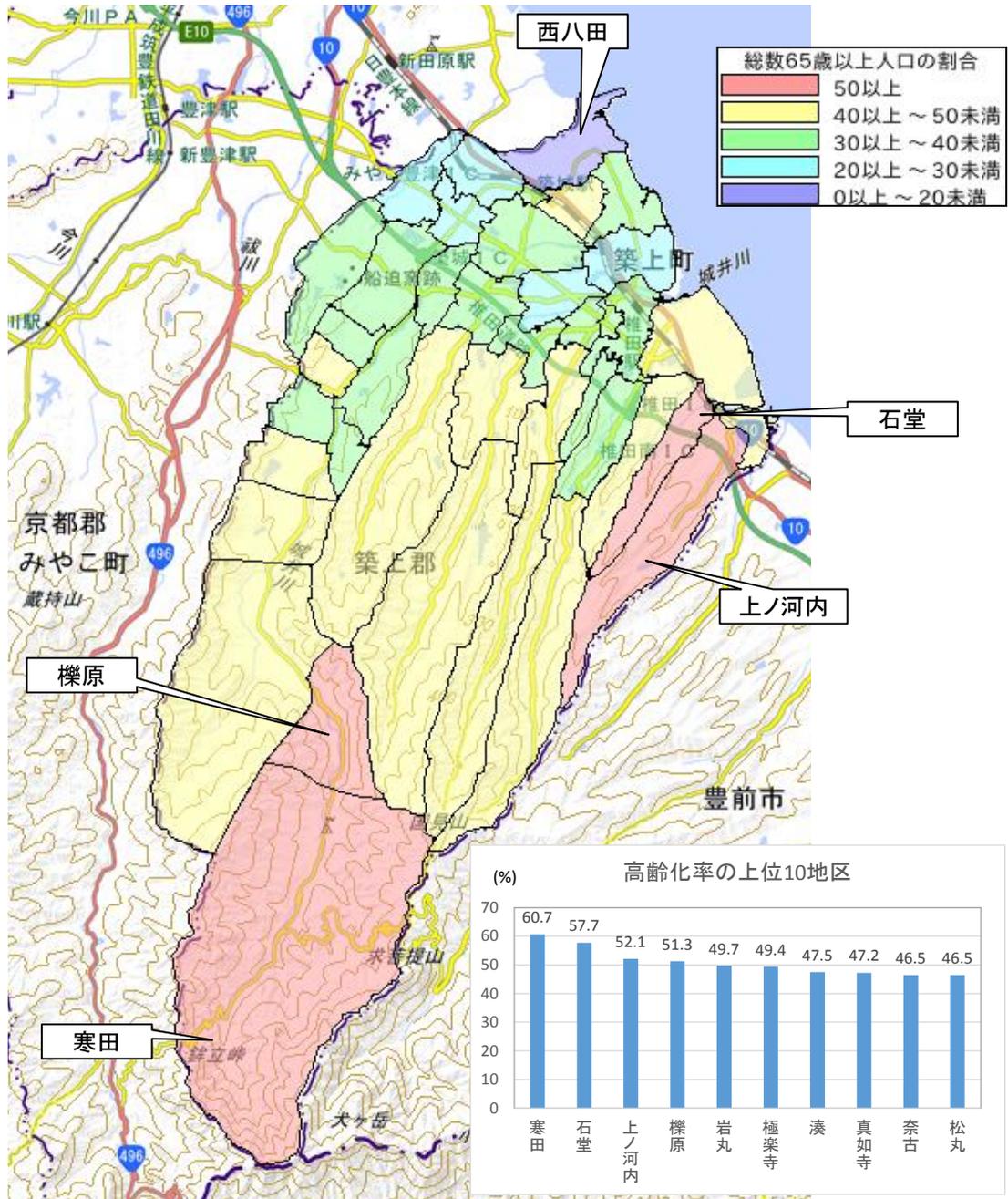


出典: 政府統計の総合窓口 e-Stat(データは 2015 国勢調査)

図 2-8. 築上町の地区別の人口密度

4-3 地区別の高齢化率

- 山間部における高齢化率は非常に高く、寒田地区の高齢化率は60.7%と60%を超えています。
- その他にも、石堂地区、上ノ河内地区、櫛原地区で高齢化率が50%を超えています。
- 一方、沿岸部の高齢化率は低く、自衛隊がある西八田地区は14.9%と15%にも達しておらず、地区により高齢化に大きな違いがみられます。

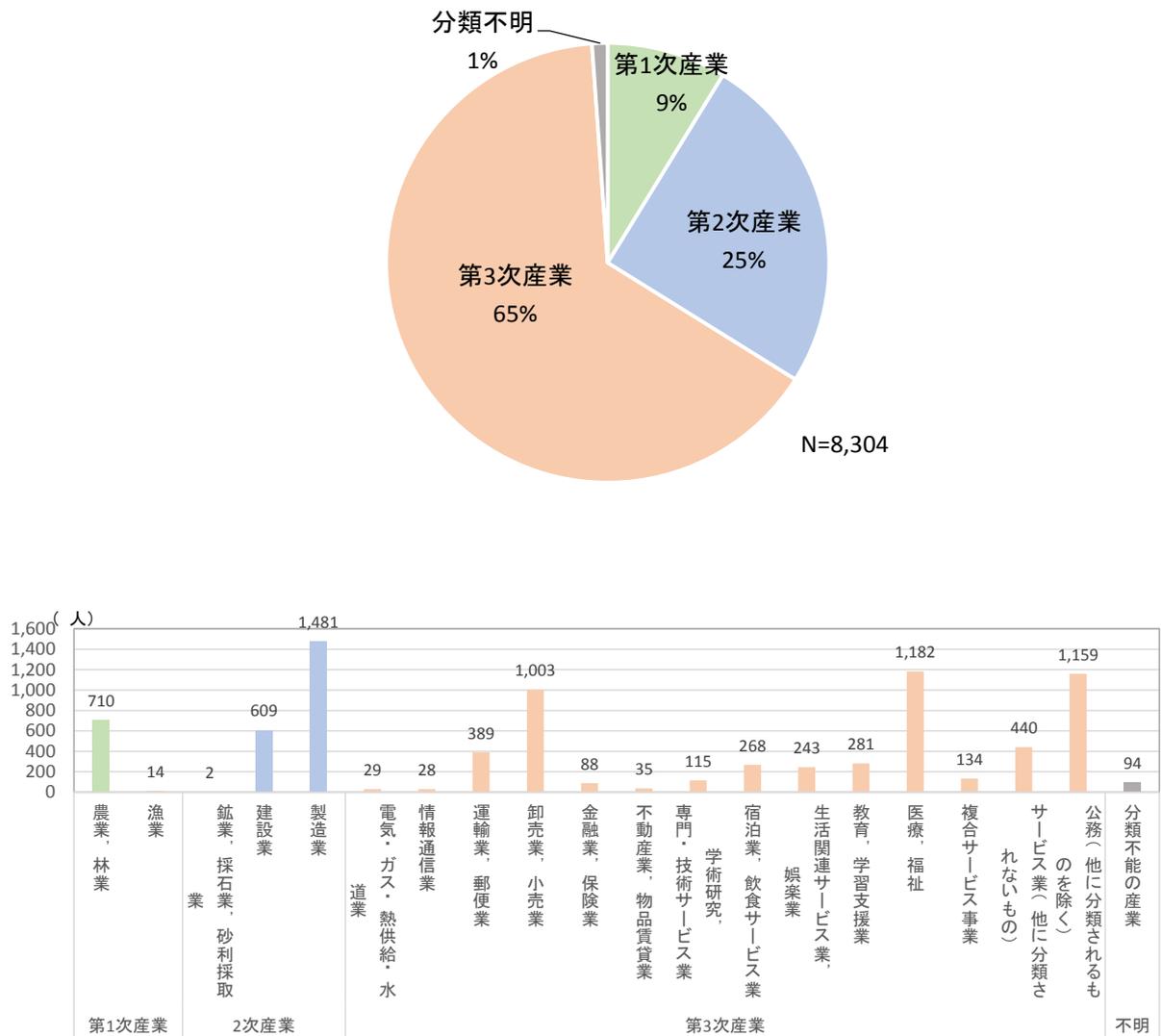


出典: 政府統計の総合窓口 e-Stat(データは2015 国勢調査)

図 2-9. 築上町の地区別の高齢化率

5 産業

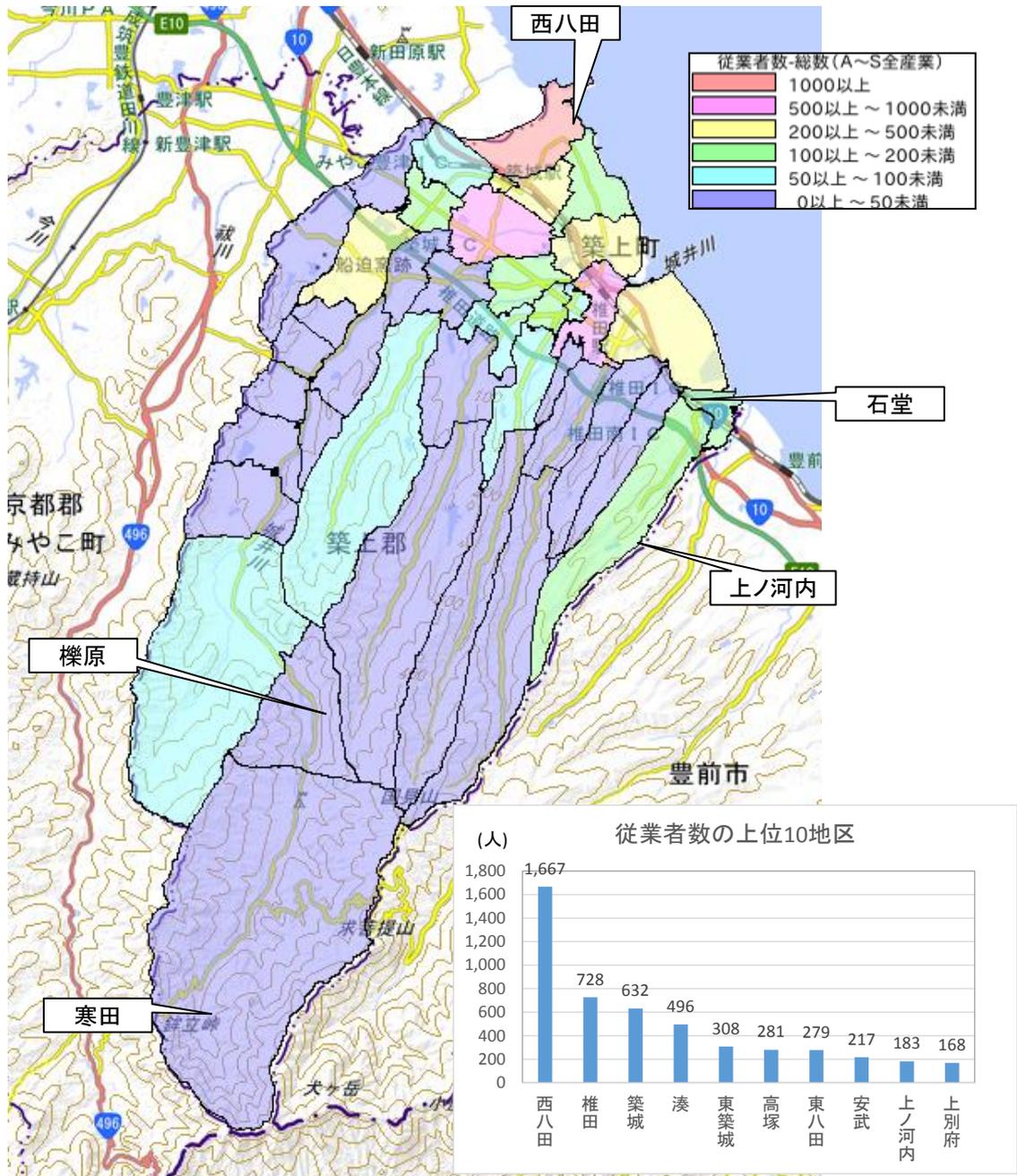
- 平成 27 年の国勢調査より、築上町の産業別就業者数の構成比をみると、「第 3 次産業」が 65%と約 2/3 を占めています。
- 第 1 次産業は 9%、第 2 次産業は 25%を占めています。
- 産業別大分類毎の就業者数をみると、「製造業」が 1,481 人と最も多く、その他では「医療、福祉」が 1,182 人、「公務（他に分類されるものを除く）」が 1,159 人、「卸売業、小売業」が 1,003 人と 1,000 人を超える就業者がいます。



出典：H27 国勢調査

図 2-10.築上町の産業別就業者数

- 従業者数は航空自衛隊築城基地がある西八田地区が 1,667 人と多く、その他では、椎田地区が 728 人、築城地区が 632 人と旧町の中心部で多くなっています。
- 一方、山間部の従業者数は少なく、多くの地区が 50 人未満となっています。



出典: 政府統計の総合窓口 e-Stat(データは 2014 経済センサス)

図 2-11. 築上町の地区別の従業者数

6 主な施設の立地状況

6-1 公共施設

- 椎田駅周辺に、町役場、築上町文化会館コマーレ、築上町歴史民俗資料館などの公共施設が集中しています。
- 築城エリアには、町役場築城支所（旧築城町役場）や、築上町コミュニティセンターなどが整備されています。

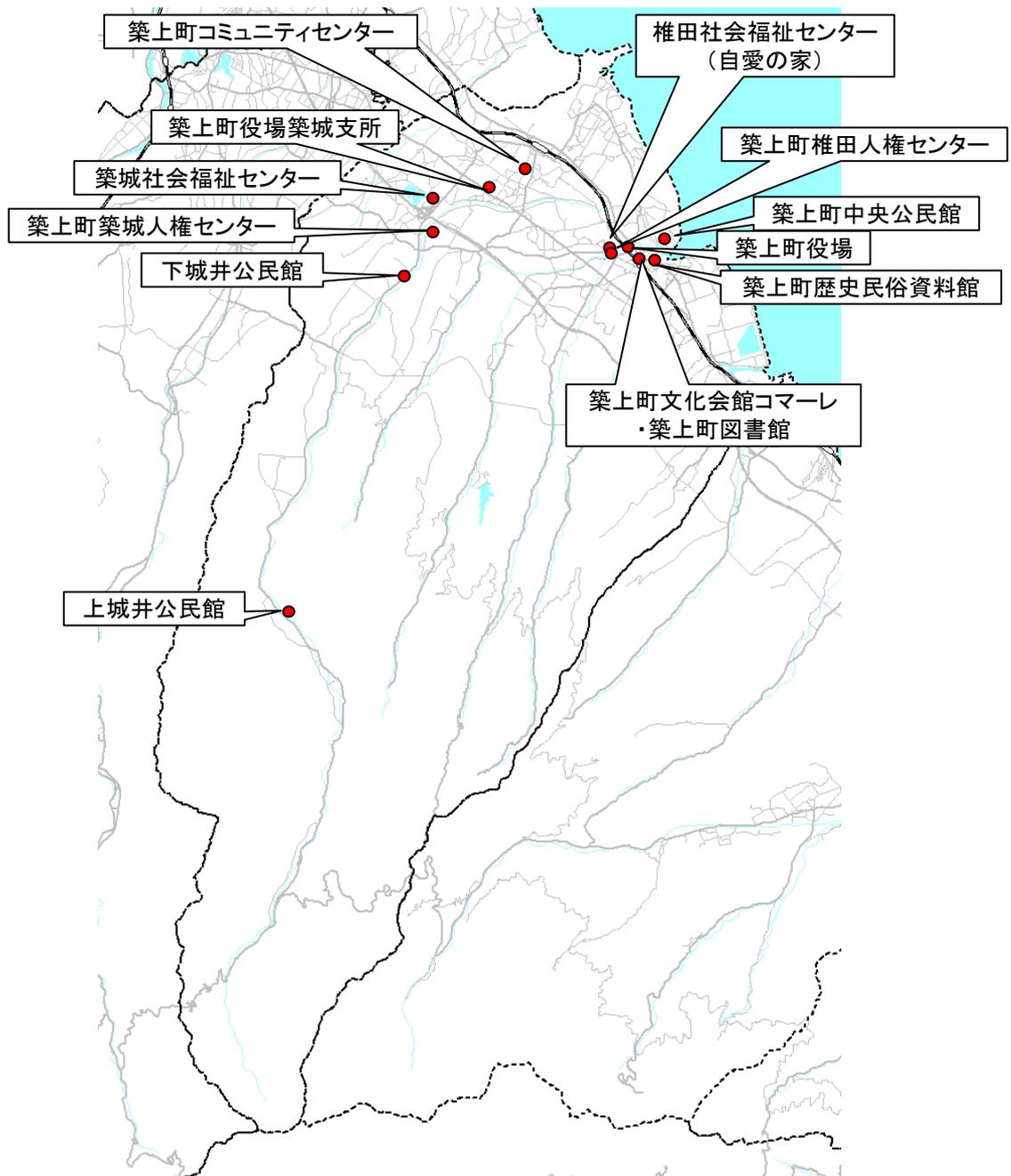


図 2-12. 主な公共施設の立地状況

6-2 医療施設

- 医療施設は、椎田駅、築城駅の両駅周辺や、安武地区などに立地しています。
- 山間部は、伝法寺地区の歯科医院を除くと医療施設がありません。
- 築上町は京築保健医療圏に属しており、最寄りの二次救急医療機関は、行橋市の新行橋病院になります。

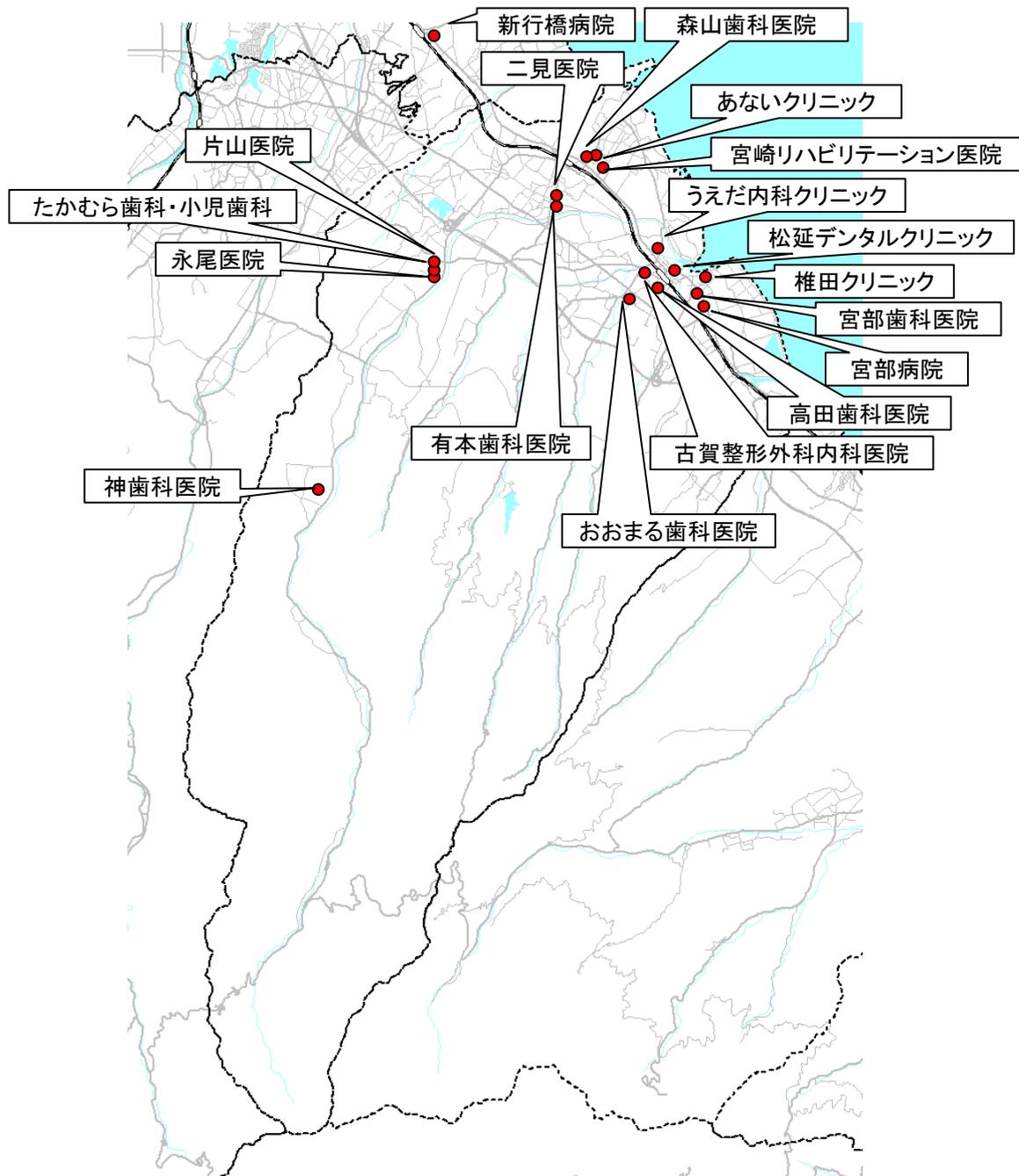


図 2-13.主な医療施設の立地状況

6-3 教育施設

- 町内には、椎田、八津田、葛城、西角田、小原、築城、下城井、上城井の8つの小学校と、椎田、築城の2つの中学校があります。
- 高校は、椎田駅近くに築上西高校がある他、隣接する行橋市に京都高校、豊前市に青豊高校、みやこ町に育徳館高校などがあります。

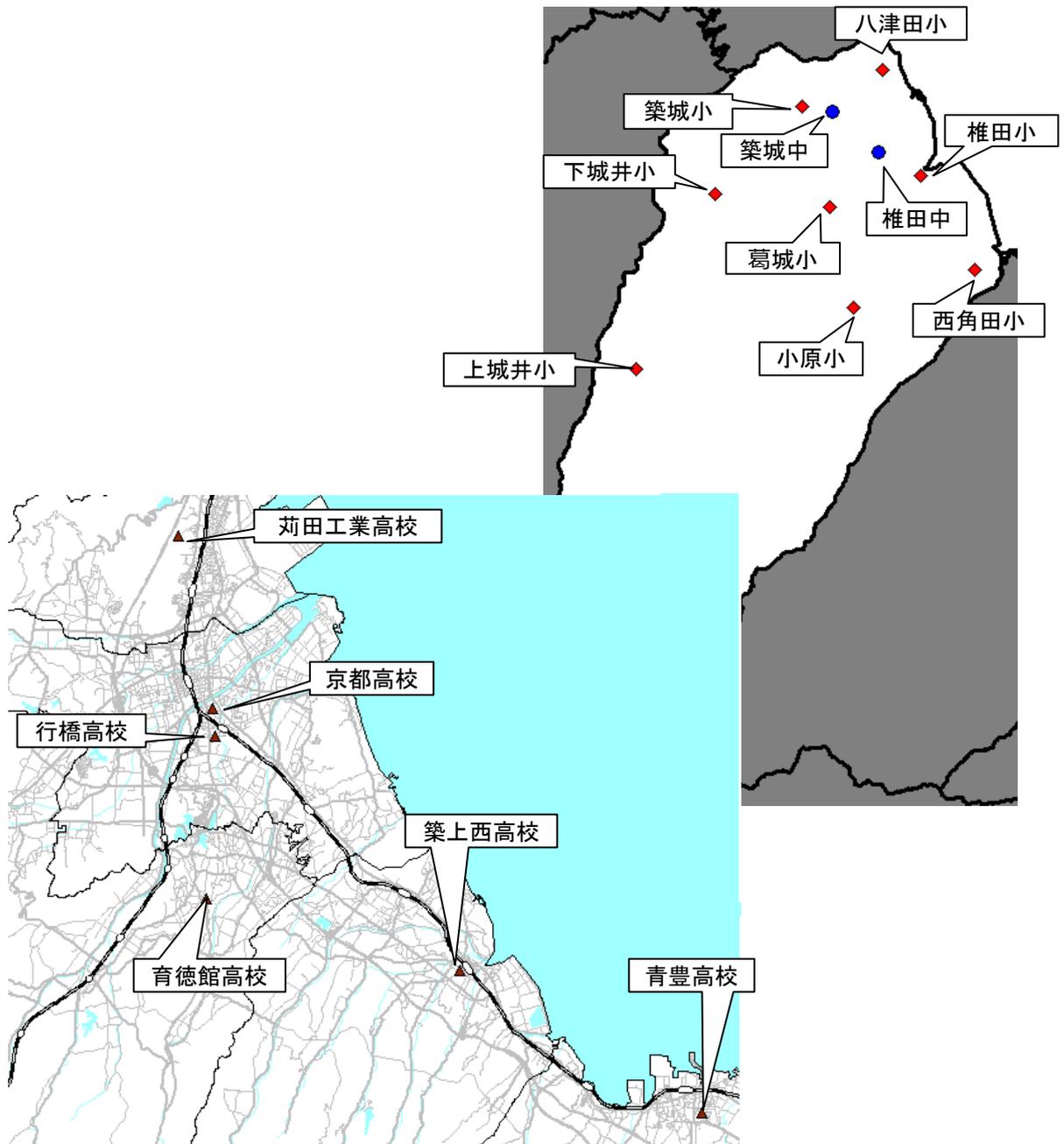


図 2-14.教育施設の立地状況

6-4 商業施設

- 商業施設は、東八田地区の国道10号沿線に、ルミエール椎田店、コスモス椎田店、ナフコ椎田店などが立地しています。
- 大型商業施設は行橋市のゆめタウン行橋や中津市のイオンモール三光などが周辺市町村に立地しています。

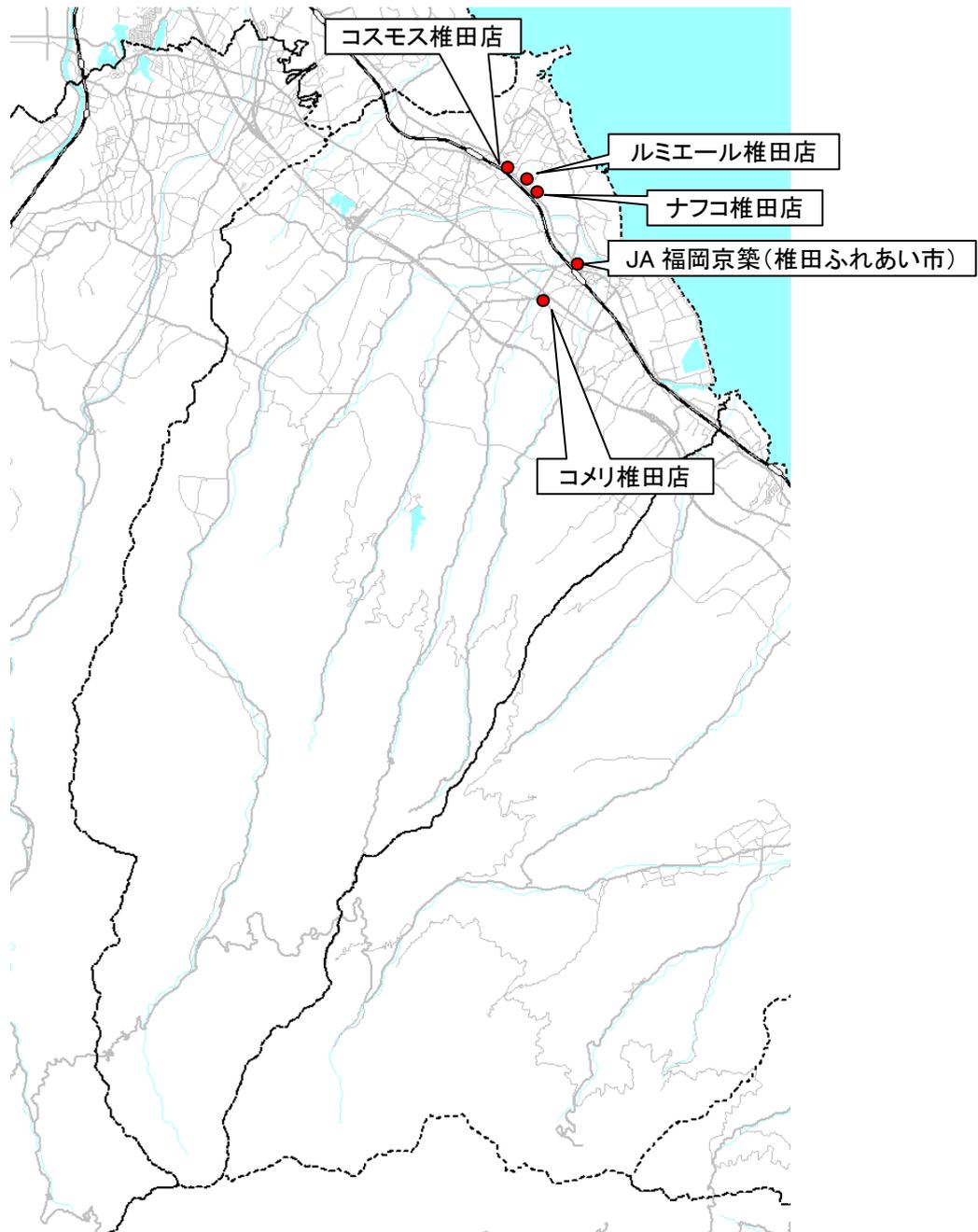


図 2-15.主な商業施設の立地状況

7 地域特性のまとめ

2～6 より築上町の地域特性は、以下のように整理されます。

表 2-1.地域特性のまとめ

項目	内容
地形	●町の北部の沿岸部に平地はみられるが、町域の大部分が山地であり、山地では谷沿いに集落が形成されている。
土地利用	●町域の約6割を森林、約2割を耕地が占めている。 ●沿岸部が都市計画区域に指定されており、椎田駅、築城駅周辺に市街地が形成されている。
人口	●人口は減少傾向が続いており、今後も人口減少が続くと予測されている。 ●少子高齢化が進んでおり、2015年度で高齢化率は34.3%に達している。特に、寒田地区の高齢化率60.4%を筆頭に、山間部では高齢化率が40%を超えている。 ●椎田、八津田、築城地区に人口が集中しており、これらの地区の人口密度も高くなっている。
産業	●就業人口の約6割を第3次産業が占め、第1次産業及び第2次産業がそれぞれ約2割を占めている。 ●大分類別では、製造業の就業人口がもっとも多い。
主な施設の立地状況	●椎田駅周辺に多くの公共施設が立地している。 ●商業施設や、医療施設は、椎田駅～築城駅の国道10号沿線地域に集中している。 ●観光・集客施設は町内各地に点在しているが、特に、上城井地区に多く集まっている。